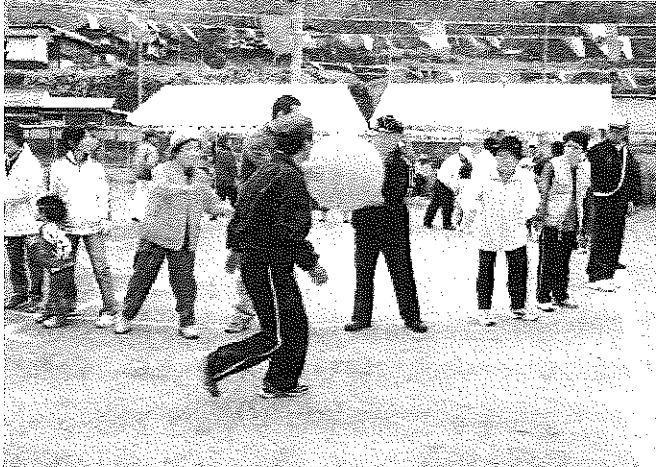


長田下地域 振興会だより 第9号

2009年(平成21年)2月4日発行

活動フラッシュ



運動会：新種目「ボール送り」(10月)



縄文の池：紫陽花(中央)とマツバギク(左奥)の植えつけ(11月)



防災訓練：見事消火成功！(11月)



運搬車満杯の資源ゴミの搬出作業(1月)

主な活動状況(10月~1月)

- | | | | | | | |
|-----|-----|-----------------------|-----|---------------------------------|-----|-------|
| 10月 | 5日 | 「振興会だより第8号」発行 | 18日 | 役員会 | | |
| | 25日 | 向原地域敬老会(準備、運営、片付け等協力) | 26日 | 大運動会 | | |
| 11月 | 1日 | 役員会 | 22日 | 縄文の池作業(アジサイ、マツバギク植えつけ(3面に関連記事)) | | |
| | 29日 | ひとは人間ホール(屋台等協力) | 30日 | 防災訓練(2面に関連記事) | | |
| 12月 | 3日 | ふれあい部会 | 14日 | 役員会、広報委員会 | | |
| 1月 | 8日 | 「振興会だより 号外」発行 | 18日 | 役員会 | 25日 | 広報委員会 |

※他に、毎月最終月曜日(1月のみ第3月曜日)に資源ゴミリサイクル活動を実施

活動感想文

「防災訓練に参加して」

昨年の11月30日(日)午後、安芸高田市消防署及び市消防団向原第3分団の方々の指導・協力の下、振興会員30数名及びひとはの利用者・職員の参加を得て、ひとは作業所を会場に長田下地域自治振興会主催の初の防災訓練が実施されました。訓練は、消火器による消火実践訓練、消火栓による実践訓練、ひとは利用者の避難訓練、火災・救急等緊急通報・火災報知器設置の説明、AED(自動体外式除細動器)使用方法及び救急対処法、と多岐にわたり2時間以上に及びましたが、参加者はみな熱心に研修・訓練に励みました。とてもためになった、という声が多く聞かれました。一参加者の感想文を紹介します。

消防車が来る前に

わが家の真裏の市道に消火栓があります。今回の訓練に参加して、私は地中の消火栓の構造を初めて見ました。そして、給水口への鉄管の連結方法、ホースの取り付け方と伸ばし方、実際の放水(※下の左の写真参照)までの一連の手順を学ぶことができました。訓練メニューの中で一番自分のためになったのはこのことでした。

帰宅後すぐに私は消火栓のところへ行って、格納箱の中の器具類とホースを確認し、あれとあれとをこうして...とイメージトレーニングに努めました。万一火災に遭遇した場合、気が動転した状況の中でイメージどおりうまくできるかどうか不安ですが、消防団員等操作に慣れた人が到着する前に途中まででもいいからセットできればと思っています。

救急車が来る前に

事故等で心肺停止の傷病者が出た場合、最初の4~5分が勝負といわれます。その蘇生法について、私は過去に何度か講習は受けましたが、実践する場面もないまま記憶もあやふやになっていました。今回の訓練で学んだ次のことだけは胸に刻んでおこうと思います。

- ・心肺停止の人には、枕を頭ではなく肩下に当てて気道を確保する(※下の右の写真、ダミーの頭参照)。
- ・口対口人工呼吸を2回、そして心臓マッサージは「♪もしもしかめよかめさんよ...」のリズムで強く30回、を繰り返す。AED装着後はその音声指示に従う。

以上、「消火栓」と「救急対処法」の2点が特に私に役立つ防災訓練でした。



消火栓から100メートル離れたところでの放水



AEDを装着しての心臓マッサージ

企画調整部より…多くの会員の方々に参加いただき、訓練用に消火器もたくさん持参・提供いただいております。また、消防署、第3分団、ひとはの方々、お世話になりました。振興会では、現在地域自主防災組織づくりにも取り組んでいます。

活動レポート「縄文の池完成に向けて大きな一歩」

今年度の活動方針として縄文の池付近の整備が重点課題として挙げられていました。その第一歩として、昨年11月22日に、池の隣地に安芸高田市の市花であるあじさいの植栽が実現しました。

植栽に至る過程については役員会でも議論をし、真砂土（10トン車4杯分）、堆肥（同2杯分）を搬入し土壌改良を図ることになりました。

しかし、実際に積み上げられた真砂土と堆肥の量を見るとさすがにびっくり。意欲を失わせかねないほどの量です。これを畑に入れる作業に取り組んでもらえたのが、ひとは作業所の農業班の人たち。道具は一輪車とスコップのみで、8人のメンバーは果敢に挑戦。見事大役を果たしてくれました。当日植栽の作業に参加された住民の方々も、きれいに敷き詰められた土を見て感嘆の声しきり。「一步一步の積み重ねが道を拓く」ということをあらためて感じさせられました。

さて植栽当日、すでに時間前から地域の方々が三々五々と集まり始め、まずは焚き火で暖を取りながら今日の意欲を高めます。すでに真砂土も堆肥も敷き詰められているという安堵感もありますが、皆さんやる気十分。その上、予想をはるかに上回る参加者がそれぞれの持分を活かして取り組むのですから、作業は一気にはかどります。数時間後には、見事に生まれ変わったあじさい園に、約80本のあじさいが植栽され、来年の開花時に夢を膨らませての談笑では、老若男女の笑い声が弾け合いました。（1面に関連写真）

作業に参加していただいた方、あじさいを提供していただいた方、そしてひとは作業所農業班のみなさん、おかげでこの地域にまた特色ある拠点ができました。皆さんのおかげと感謝いたします。

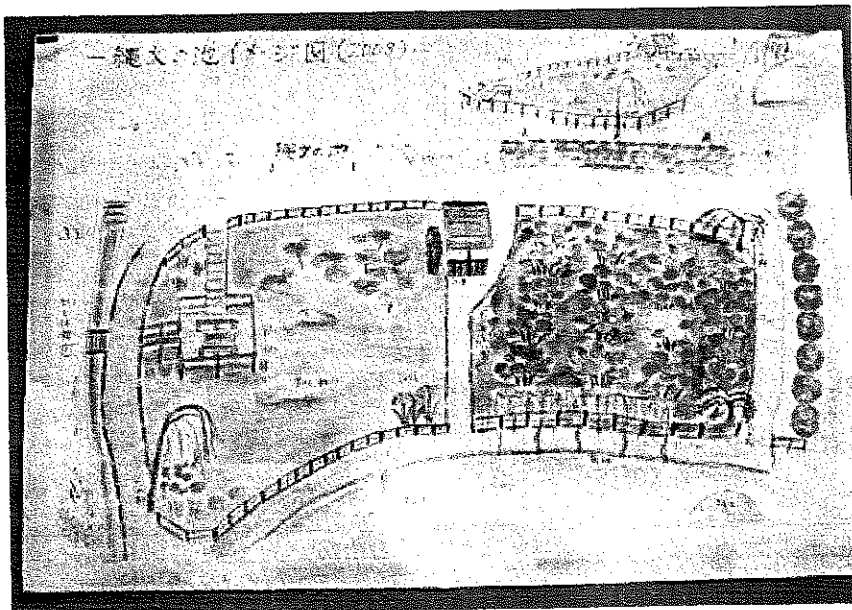
これからも振興会を中心に長田下地域の特色を活かした地域づくりは続きます。是非、住民一人ひとりの力を持ち寄り、私たちの地域を輝かそうではありませんか。

縄文の池完成像（イメージ図参照）

今回やった作業・・・右半分にあじさいを、その上の斜面にマツバギクを植えた。

今後やる主な作業・・・池とあじさい園の角にしだれ柳、しだれ桜を植える（今年度）。中央の上部分に水車小屋を設置する。右下部分に藤棚を作り、右端部分にはマメツゲを植える。池の中に置き石を置き、ショウブ等水生植物を植える。県道から見えるように左上に看板を立てる。

（予定変更もありうる。）



縄文の池完成イメージ図（役員・児玉尊子さん作）の縮小写真

今年も新春恒例の「とんど」が、1月10～11日に、小雪の舞う中各集落単位で行なわれました。まっすぐに燃え上がる炎、青竹のはじける音に本稿担当者もしばし心を躍らされました。

「とんど」ってなんですか？ と時々思う。

地方によっては、他の正月行事は新暦(今の暦)で行われ、「とんど」は旧暦(旧暦では今年の正月元日は1月26日)で行うとも聞く。近頃では、地域のみんなとの新年の挨拶の場と言われることも少なくない。そうそう、もう一つ、お尻を炙れば3年長生きをすることも言われる。そのお陰ではたしてどれくらい生きられるんだろう。

あれはもう何年位前になるだろうか？各集落で子ども会が中心となり、学校から帰ると、毎日決められた場所に竹を集めて準備をしていたのを思い出す。雪の降る中、長い竹を子ども数人がかりで声を掛け合って運んだものだ。

現在では子どもも少なくなり、大人主導で「とんど」を行う。当日、竹集めや、かずら取りその他の準備をし、寄せ集めた多くの竹を組み立て、かずらで締めつけて完成となる。火をつけて火柱が上がると、子どもたちの書初めが火とともに勢い良く舞い上がるのを見て歓声が上がる。こうして子どもたちの今年一年の健康を皆で祈る姿は今も昔も変わらない。

男衆が作った竹筒で燗をし、青竹の香りのする熱燗を酌み交わす。集落ごとに楽しみ方も違うが、私の集落では当番さんの作ったぜんざいにこんがり焼けた餅を入れて食べる。また、するめや鮎を焼いて食べるのも格別だ！美味しい酒を飲みながら昨年したこと、今年の抱負などを語り合っただけで身も心も温まる時を過ごせるのも「とんど」ならではの時間だ。

「とんど」は、皆で餅を食べ、酒を酌み交わし、新年の挨拶をする、集落の今年最初の楽しい行事だと思ってしまう。



竹酒、ぜんざい、鮎... で親交を深めた今年の4区のとんど

振興会掲示板

- 「友愛訪問」を実施します。ふれあい部が中心となって「友愛訪問」(声かけ、激励等が必要な高齢者の訪問)を実施します。実施時期は3月中下旬を考えています。
- 災害・救急等に備えて「緊急通報ステッカー」を作成して全戸へ配布します。詳細については、常会等で各区の副会長(行政嘱託員)が説明します。
- 役員一部改選の時期になっています。振興会活動が振興するよう、選出にご協力ください。
- 「振興会だより第8号」でお知らせした吉谷川砂防ダム建設工事が遅れています。工期が3月15日まで延長されていますので、工事関係道路通行時には十分ご注意ください。